

# 沖縄本島周辺離島に対する 水道広域化の概要

平成29年7月  
企業局建設課

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画における水道広域化の位置付け

## (1) 第2章 基本的課題

- ①沖縄の歴史的、地理的、自然的、社会的諸事情に起因する固有の課題の一つとして、離島の振興を位置付け。
- ②条件不利性を多く抱える離島の振興に当たっては、日本の領空、領海、排他的経済水域（EEZ）の保全など国家的利益の確保に貢献している重要性を踏まえ、定住条件の整備、地域特性に応じた産業振興に取り組み、持続可能な離島地域社会の形成を図る。

## (2) 第3章 基本施策（3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して）

### 「(11) 離島における定住条件の整備」

離島住民が住み慣れた島で安心して暮らし続けることができるよう、交通コストの低減、生活環境基盤の整備、教育・文化、医療、福祉等の分野における住民サービスの向上など定住条件の整備を図る。

#### 「生活環境基盤」

- 上下水道等の住民サービスの向上について、上水道については、老朽化施設の更新や耐震化等の施設整備のほか、小規模離島をはじめとする県内事業体における水道広域化の推進により水道事業の運営基盤の安定化に取り組み、安全な水道水の安定供給の維持、向上及び住民への負担軽減を図る。

## (3) 第4章 克服すべき沖縄の固有課題

### 2 離島の条件不利性克服と国益貢献

- ①離島の多くは人口規模や経済規模が小さいほか、生活・産業活動の条件が厳しく、また、市町村財政基盤も脆弱であるなど沖縄本島の市町村との格差が依然として存在している。
- ③これらの格差は、遠隔性、散在性、狭小性等の条件不利性に由来する。
- ④離島振興に当たっては、離島の果たしている役割に鑑み、県民はもとより国民全体で離島住民の負担をともに分かち合い、離島地域を支えるという理念のもとに取り組むことが求められる。
- ⑤離島の条件不利性を克服して、住民が安心して生活し働くことができる持続可能な地域社会の形成につながるような総合的な離島振興策を協力を推進する必要がある。

# 本県水道の課題

## ①水道サービスの格差（本県特有の課題）

1. 水質管理

2. 渇水、制限給水

3. 水道料金

4. 経営基盤

早急な対応が必要！

- 県内離島は、**定住条件にハンディ**を抱えている
- 水道サービスに**地域間格差**がある。特に沖縄本島周辺離島は多くの問題があり、**喫緊の課題への対応が必要**
- **技術基盤・財政基盤の強化が必要**

## ②水道サービスの継続（全国と共通の課題）

1. 更新費用等の増加・耐震化への対応

2. 技術者及び技術力の確保

3. 人口減少に伴う料金収入の減少

将来に備える必要あり

- 安全な**水道水**を**安定して供給し続ける**ための施策に取り組む必要がある

# 特に課題の多い離島8村

●渡嘉敷村

●座間味村

●粟国村

●渡名喜村

●南大東村

●北大東村

●伊平屋村

●伊是名村

## ①「水道サービスの格差」⇒喫緊の課題

■質 : 水源水質の悪化等への適切な対応に課題

■量 : 水資源が乏しく、降雨状況によっては制限給水を実施

■水道料金 : 本島周辺離島8村は特に高く、県平均を上回っている。

■経営基盤 : 高コストにより、他会計からの繰入に依存

★質・量・料金、すべてで特に格差のある沖縄本島周辺離島8村★

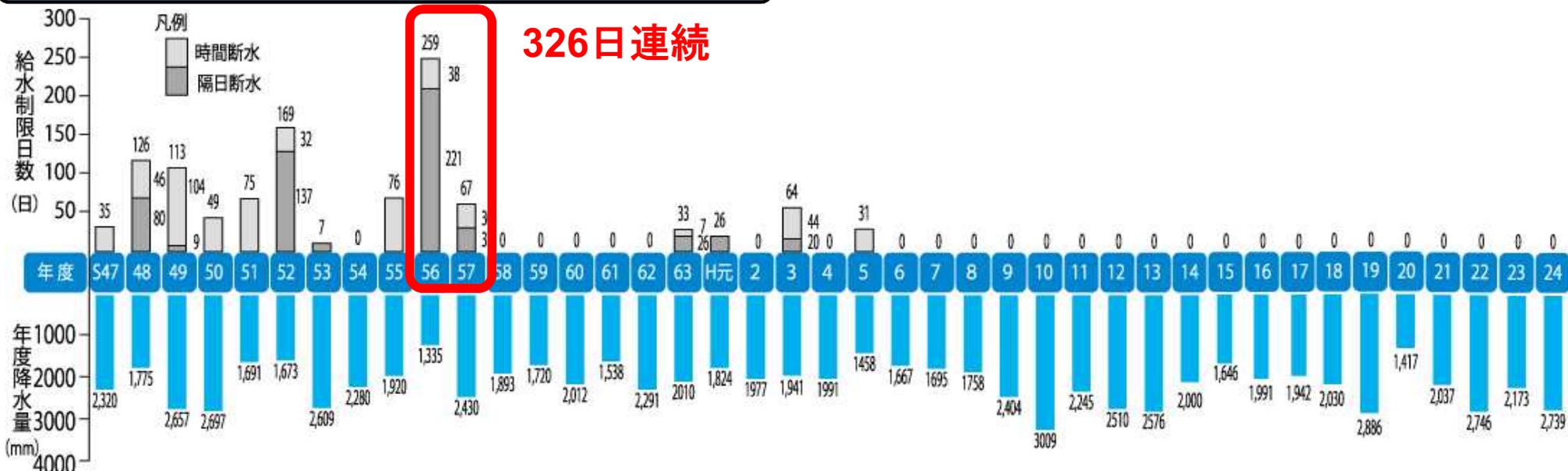
○沖縄本島周辺の離島8村を対象に沖縄県企業局による水道用水供給事業の拡大

○各離島において必要な施設整備を進め、安全で安定的な水道用水供給システムが整った離島から、水道広域化(水道用水供給事業の拡大)を順次実施

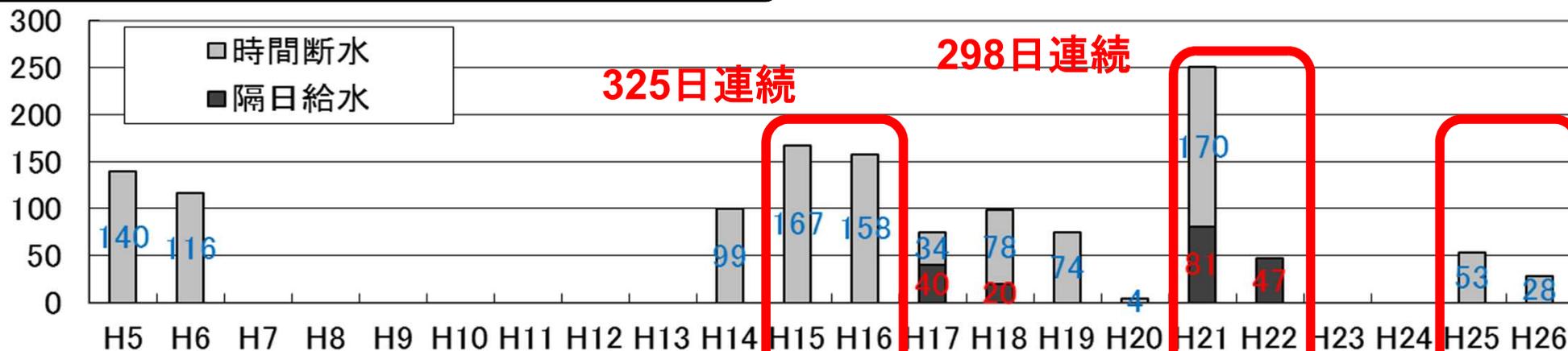
※水道広域化の実施時期(予定):平成29年度～平成32年度

# 水道サービスの格差 — 渇水・制限給水 —

## 沖縄県企業局

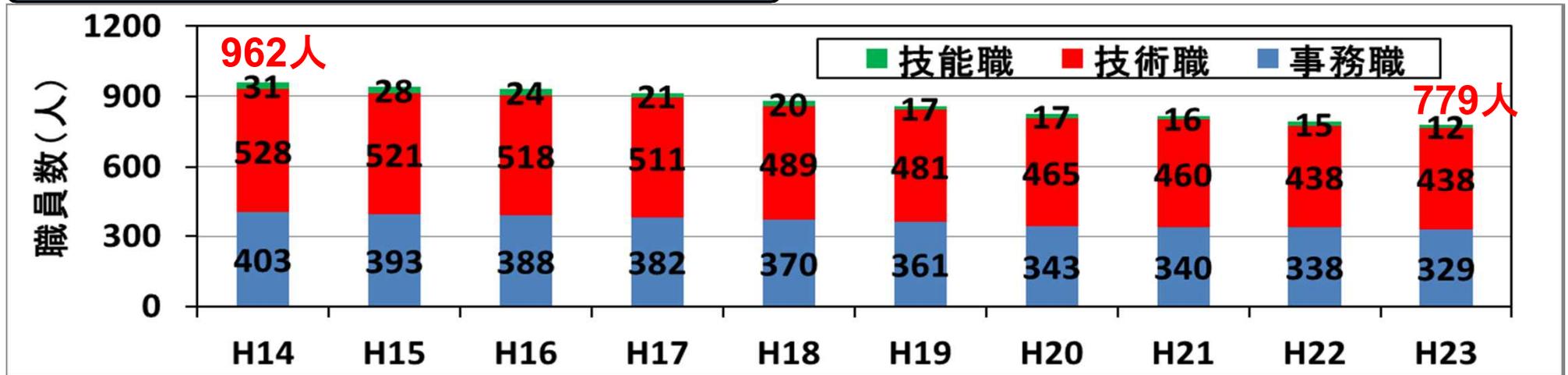


## 座間味村(離島簡水)

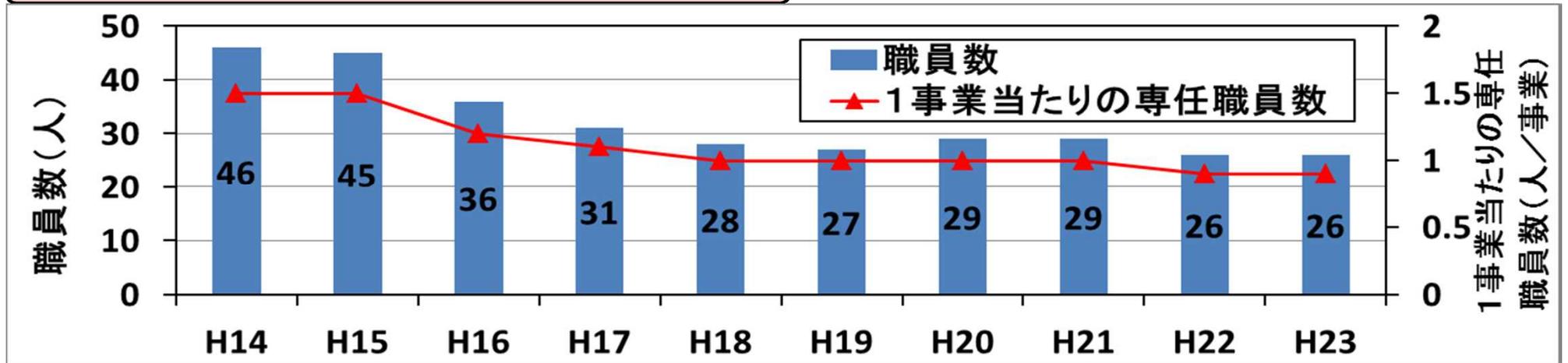


# 水道サービスの格差 — 技術基盤（職員数） —

## 上水道及び用水供給事業



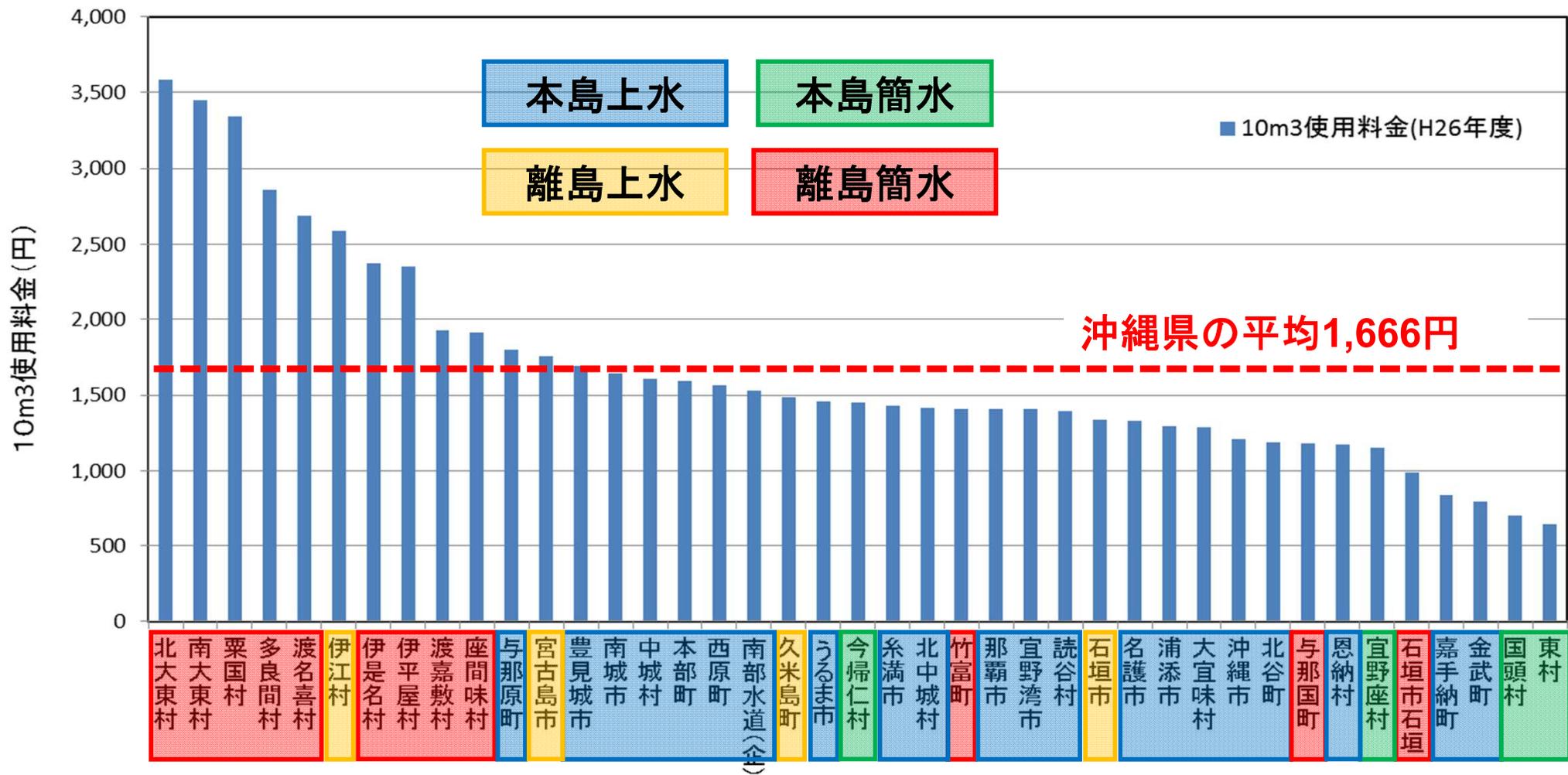
## 簡易水道事業



- 職員数が**減少**（上水及び用供20%減、簡水40%減）
- 特に**簡易水道事業の体制が脆弱**（専任職員1人／事業体）

# 水道サービスの格差

## —水道料金—

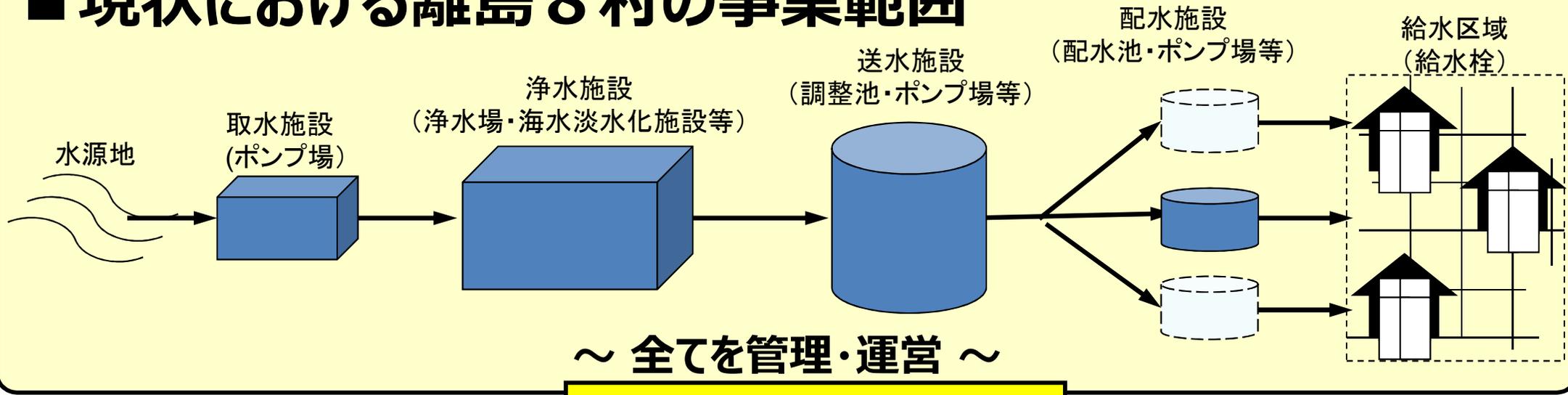


○地域の状況により、水道料金の差がある。

○特に、水源の乏しい小規模な離島の料金が高い。

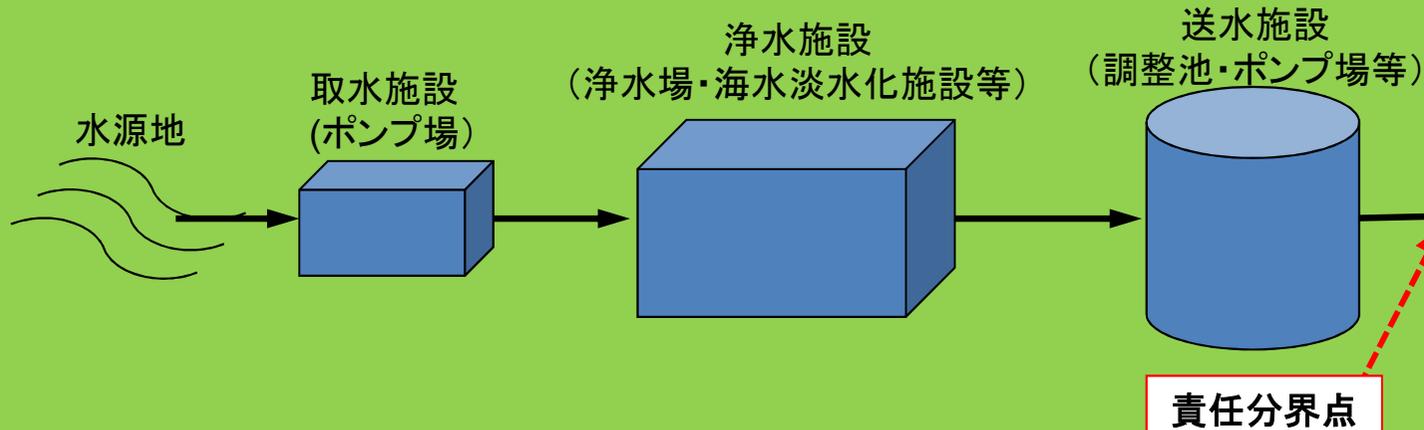
# 企業局と村の事業範囲

## ■ 現状における離島 8 村の事業範囲

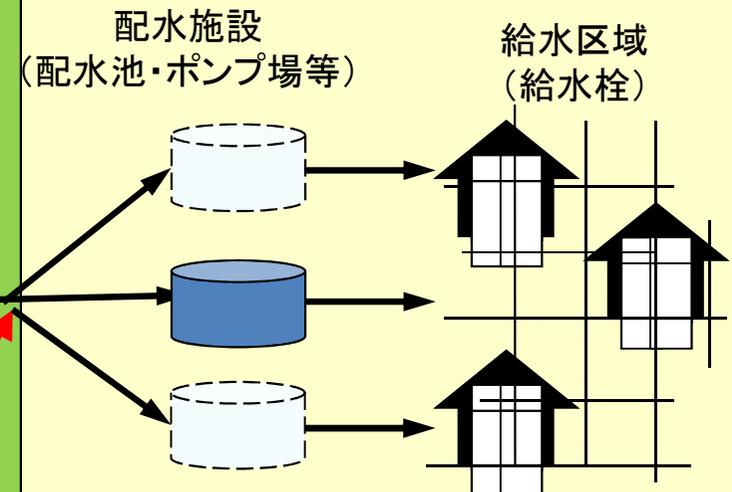


### 広域化実施

#### 企業局にて管理



#### 離島 8 村にて管理



# 水道広域化に伴う施設整備

## 水道広域化に伴う水道施設の考え方

水源種別



ダム ▼



地下水(井戸) ■



海水淡水化施設 ★

水処理工程

※膜処理技術を活用した浄水処理方法を採用

陸水系

MF(UF)

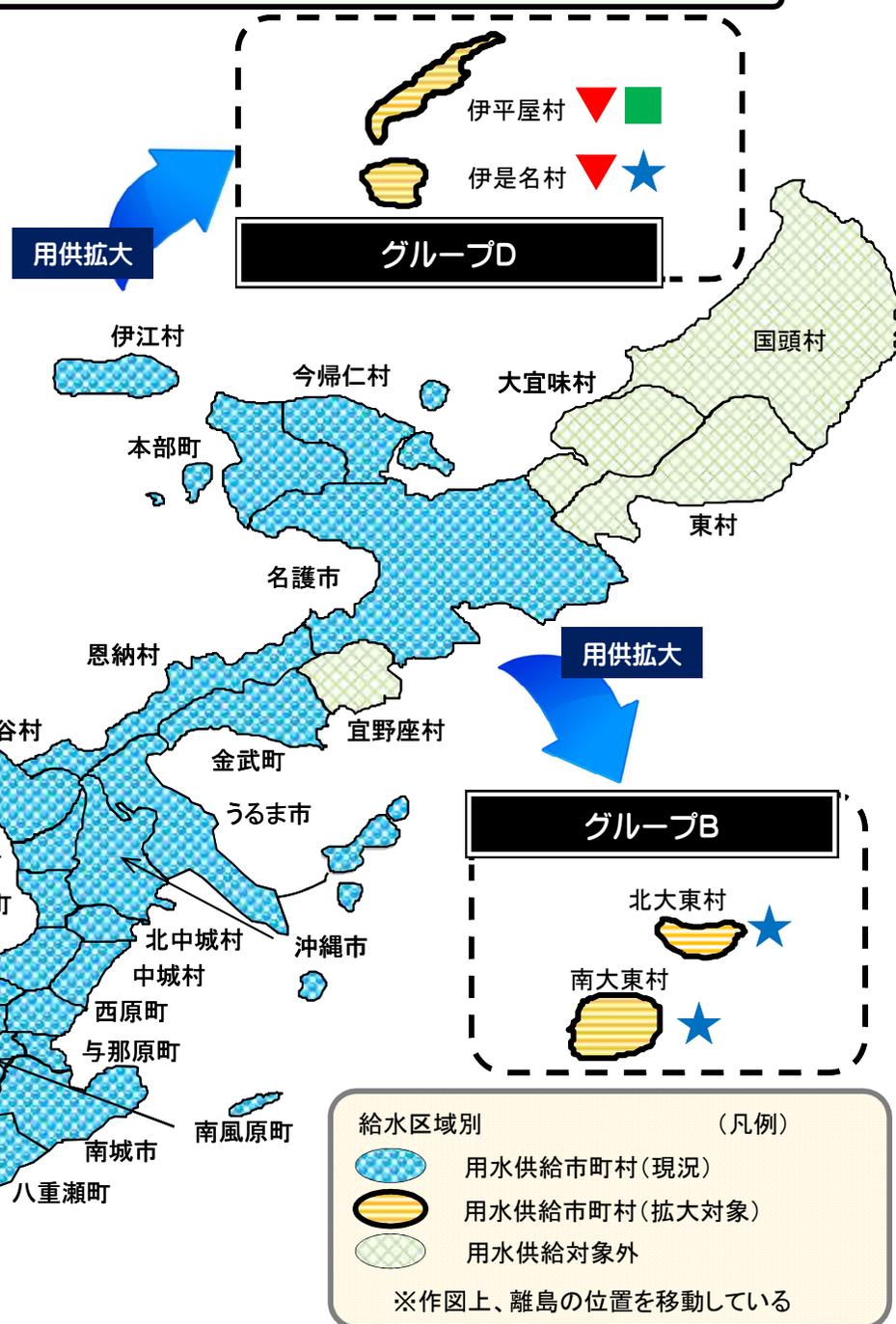
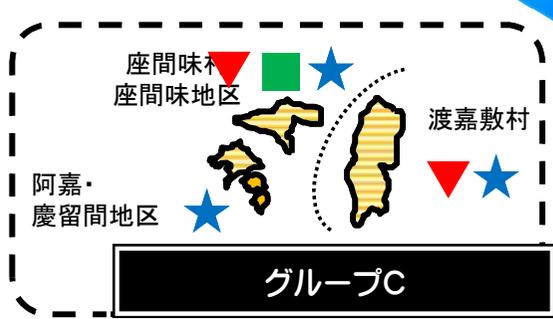
除マンガン

RO(NF)

海水系

SWRO

ミネライザー



給水区域別 (凡例)

- 用水供給市町村(現況)
- 用水供給市町村(拡大対象)
- 用水供給対象外

※作図上、離島の位置を移動している